

## 藤子・F・不二雄ミュージアム

経済学部 2 回生 山本翼

合宿初日、F 先生のお墓参りを終えたあとは、合宿の主な目的地の一つである川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム(以降「F ミュ」)へ。主に関西で生活していると F ミュに行ける機会は限られるので、F 同では毎年、合宿という形で F ミュに行っています。

私は F ミュでの合流となったので登戸駅から一人でバスに乗って向かったのですが、F ミュ行きのバスはいつも楽しげな雰囲気です！ みんなワクワクしているのが感じられます。到着後、ミュージアムカフェで合流。このミュージアムカフェのメニューは味もさることながら随所に遊び心が感じられる F ミュならではのメニューばかりで、食べるのがもったいないくらいです。ココスあたりでも出してくれたらいいのに……(笑) ミュージアムカフェといえば、食べ終わるころに F ミュのスタッフの方と少しお話をさせていただいたのですが、そのときの様子が F ミュのブログに載りました！ 2013 年 9 月 19 日更新分の「学生さんたちがいっぱい♪」に写真付きで紹介してくださっているので、是非見てみてください。



食事を終えた後は音声ガイドの「おはなしデシワ」を受け取って展示エリアへ。F 先生の代表作の原画に加え、合宿当時は原画展「大長編ドラえもん」の第二期にあたる時期だったため大長編ドラえもんの原画も見ることができました。その他にも F 先生の来歴の紹介など、F 先生の人柄が窺えるような展示が数多くあったのですが、それだけでなく子ども向けの音声ガイドや途中の休憩コーナー、「きこりの泉」など、大人から子どもまで楽しめる展示になっていたのはさすが F ミュですね。

展示を見たあとは、F シアターのショートムービーを観たり、まんがを読んだり、中庭で昼寝したり、はらっぱで写真を撮りまくったり、ミュージアムショップで大散財したり(笑)、と各人 F ミュを満喫しました。

とはいえ、F ミュを出るときはやっぱり後ろ髪を引かれる思いでした。F 先生の世界にこれだけどっぷり浸かれる場所もそうないですし、本当に細部までこだわられていてもっと書きたいこともあるほどです。が、まだまだ合宿は続きますのでこのあたりで筆を擱きたいと思います。